

令和2年度袖ヶ浦市決算の概要

総務省から示された財務書類作成における「統一的な基準」に基づき平成28年度決算分から財務書類を作成しています。財務書類作成の目的は、地方公共団体の説明責任の履行と、財政運営の効率化・適正化を推進することです。

①貸借対照表

令和3年3月31日現在 (単位:百万円)

科目名	金額	科目名	金額
資産の部		負債の部	
【これまでに形成された資産】		【将来世代の負担】	
固定資産(学校、公園など)	63,081	固定負債	17,227
・有形固定資産	54,449	・地方債	13,631
・無形固定資産	16	・退職手当引当金ほか	3,596
・投資その他の資産	8,616	流動負債	1,889
流動資産	5,026		
・現金預金	1,416	負債合計	19,116
・基金	2,471	純資産の部	
・未収金ほか	1,139	【過去及び現役世代の負担】	
		純資産合計	48,992
資産合計	68,108	負債及び純資産合計	68,108

貸借対照表

貸借対照表とは、基準日(年度末時点)での財政状態(資産・負債・純資産の残高及び内訳)を表示したものです。表の左側には、市が保有している資産を、右側には、その資産を取得するために要した財源の内訳を示しています。

行政コスト計算書

行政活動に係る費用と行政サービス(福祉やごみの収集など)の受益者負担の関係を表しています。

純資産変動計算書

純資産(過去及び現役世代や国・県が負担した将来返済しなくてよい財産)が、どのように増減したかを区分して表したものです。

資金収支計算書

一年間の資金の増減を、現役世代のための「業務活動収支」、将来世代のための「投資活動収支」、将来世代が負担する「財務活動収支」に区分したものです。

②行政コスト計算書

令和2年4月1日～令和3年3月31日 (単位:百万円)

科目名	金額
経常費用	30,860
業務費用	13,950
・人件費	5,606
・物件費等	8,010
・その他の業務費用	334
移転費用(社会保障給付など)	16,910
経常収益	857
純経常行政コスト	30,003
臨時収支	10
純行政コスト	29,993

③純資産変動計算書

令和2年4月1日～令和3年3月31日 (単位:百万円)

科目名	金額
前年度末純資産残高	49,243
純行政コスト(△)	-29,993
財源	29,738
・税収等	16,789
・国県等補助金	12,948
本年度差額	-255
無償所管換等	4
本年度純資産変動額	-251
本年度末純資産残高	48,992

④資金収支計算書

令和2年4月1日～令和3年3月31日 (単位:百万円)

科目名	金額
業務活動収支	1,307
投資活動収支	-1,978
財務活動収支	18
本年度資金収支額	-654
前年度末資金残高	2,037
本年度末資金残高	1,383
本年度末歳計外現金残高	33
本年度末現金預金残高	1,416